

ラジオNIKKEI 月曜日16時～

『キラメキの発想』 資料

2024年11月18日放送分

番組では個人投資家・トレーダー向けに相場を大きく動かしそうな内部・外部要因について、OPトレーダーの視点から、さまざまなファンダメンタル指標やテクニカル指標などを用いて分析していきます。なお、主宰しているオプション倶楽部の詳細については倶楽部サイト「optionclub.net」をご覧ください。「OP売坊戦略」で検索！



OP売坊



25年1月限SQ日ごろまでの注目イベント（P.2）

<米国>

12月06日：雇用統計（11月分）

12月11日：消費者物価指数（11月分）

12月12日：生産者物価指数（11月分）

12月18日：FRB政策金利

01月10日：雇用統計（12月分）

01月15日：消費者物価指数（12月分）

01月29日：FRB政策金利

<欧州・英国>

12月19日：英国政策金利

12月12日：欧州政策金利

<日本>

11月29日：消費者物価指数（東京11月分）

12月13日：12月限SQ日

12月19日：日銀金融政策決定会合

12月27日：消費者物価指数（東京12月分）

12月30日：大納会

01月06日：大発会

01月10日：1月限SQ日

01月24日：日銀金融政策決定会合

円安傾向にもかかわらず日経平均の予想EPS（1株当たり利益≒業績）が低下しています。円安による輸出企業の好業績に疑問符がついているのでしょうか



2024年11月

18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2024年12月

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2025年1月

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26

	日経225ミニOPのSQ日
	日経225ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
メジャーSQ	日経225ラージ/ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日
	祝日取引実施日

◎11月23日にOPトレードセミナーを開催します

- 第二金曜日（原則）は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りの日です。
- OP売坊公式X「@OP49431790」でニュースについてつぶやいています。

〔注〕予定は予告なく変更される場合があります。
出所）ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成



OP売坊のグレイ・リノ (P.3)

サイは普段おとなしいが
怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 気候変動による食料価格高騰・食料危機
- 🐘 地政学的リスクの複雑化（ウクライナ・中東・台湾情勢など）
- 🐘 ウクライナ含む世界の難民増（2024年5月で1.2億人）
- 🐘 日米欧中の経済政策不確実性上昇・債務増・増税懸念
- 🐘 米国の景気後退入りとインフレ再加速＝スタグフレーション
- 🐘 米国債の格付引き下げ懸念と基軸通貨「米ドル」の没落
- 🐘 **トランプ次期大統領の政策**
- 🐘 **FRBの政策金利引き下げと米国の金利動向**
- 🐘 日本の人口減加速による2024・25・30・40年問題
- 🐘 **石破政権の賞味期限と不安定な政権運営**
- 🐘 **日銀の政策金利引き上げ**
- 🐘 日経平均の乱高下（HVとIVの上昇）
- 🐘 中国の不動産バブル崩壊・経済崩壊懸念
- 🐘 **バフェット指数（株式時価総額÷名目GDP）の異常値**
米国：201.0（11月15日概算）←206.1（11月11日概算）
日本：167.6（11月14日概算）←181.9（7月10日概算）



米大統領選はトランプ氏の圧勝となりました。米国株と米ドルは、これを織り込んで上昇しています。結果的に日経平均が11月頭に様子見となり調整となったときに逆張りで日経225CALL買いもしくはブルCALLスプレッドを仕掛けるのが正解だったこととなります

など

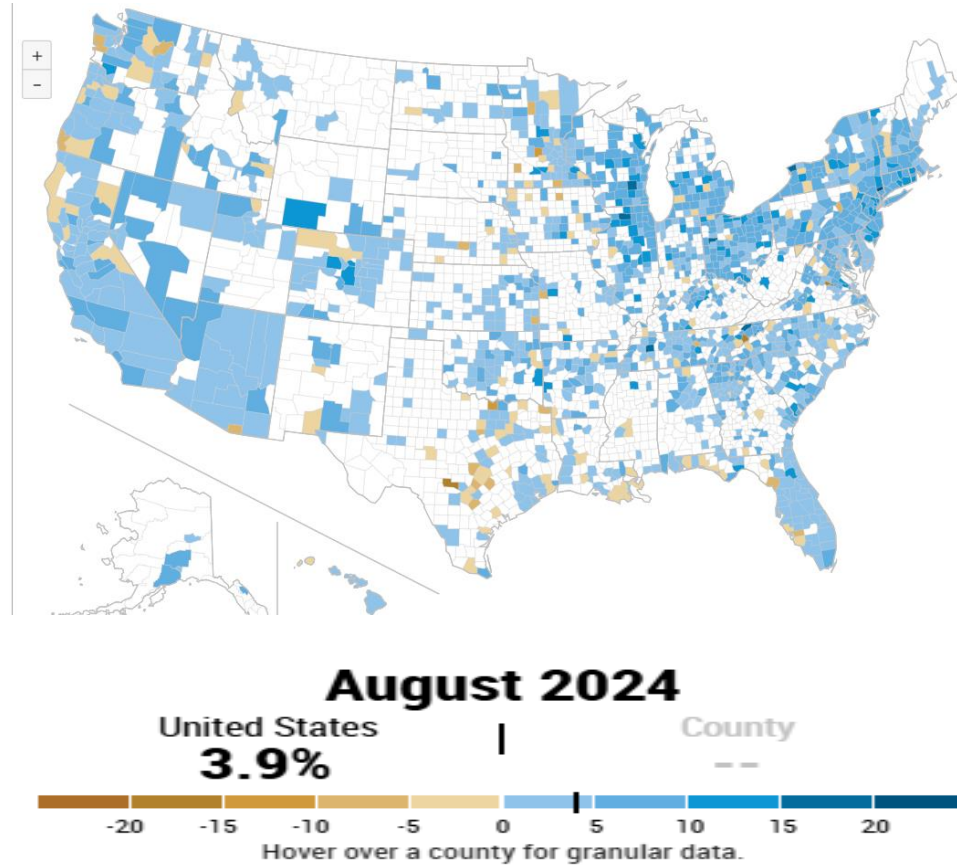
グレイ・リノ（灰色のサイ）とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。





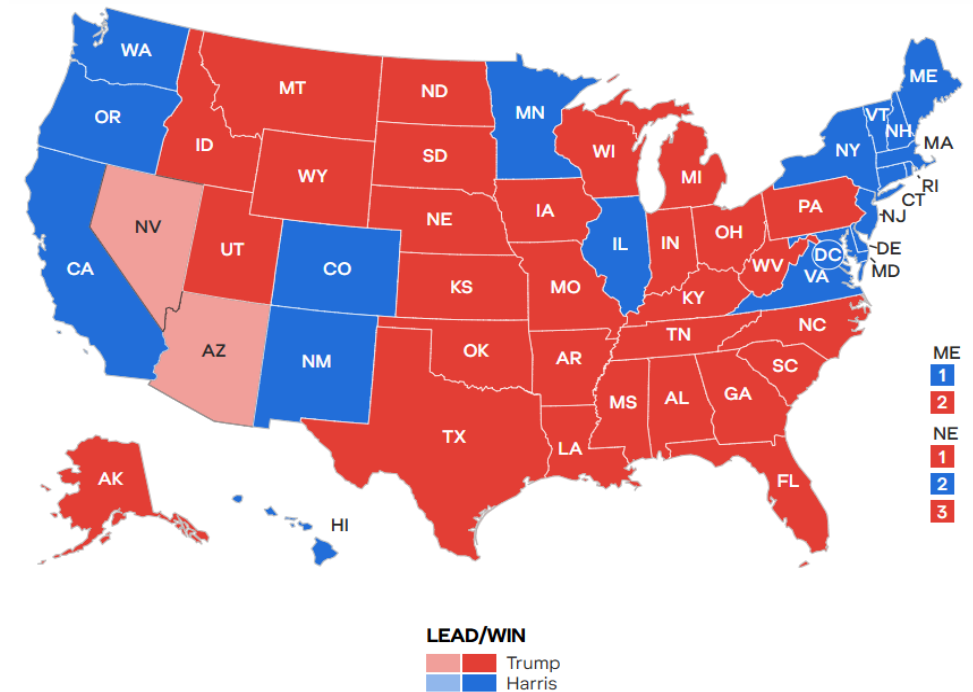
インフレによる生活苦が米国庶民の怒りに（P.4）

米国の不動産価格（前年比・2024年8月）



出所) NY連銀

米大統領選の結果（青はハリス氏、赤はトランプ氏勝利）



不動産価格の上昇率が高い州、すなわち米東・西海岸の金持ち居住地が多い州ではハリス氏が優勢でした。一方、トランプ氏が優勢だったのは、資産価格上昇の恩恵のない、ただ物価高に苦しんでいる地区が多い州だったと分かります





OP売場の重視しているもの (P.5)





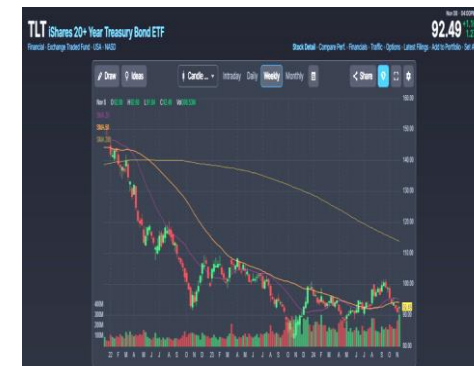
今後の力ギは米国の政策金利「FFレート」 (P.6)

株式市場



出所) TradingView

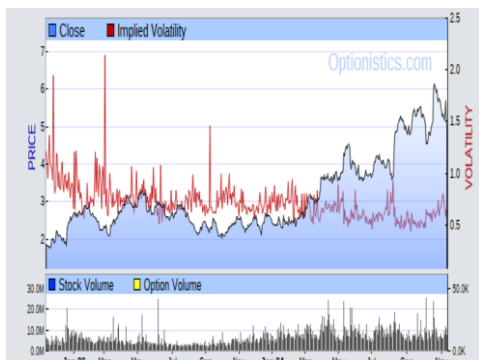
債券市場



出所) finviz

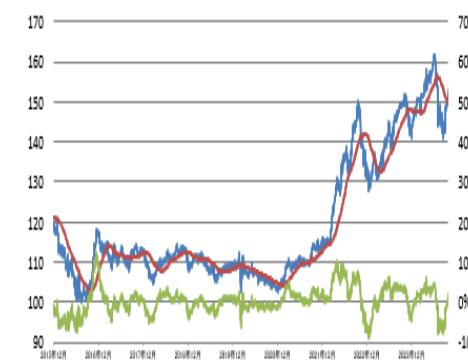


商品市場他



出所) Optionistics

為替市場

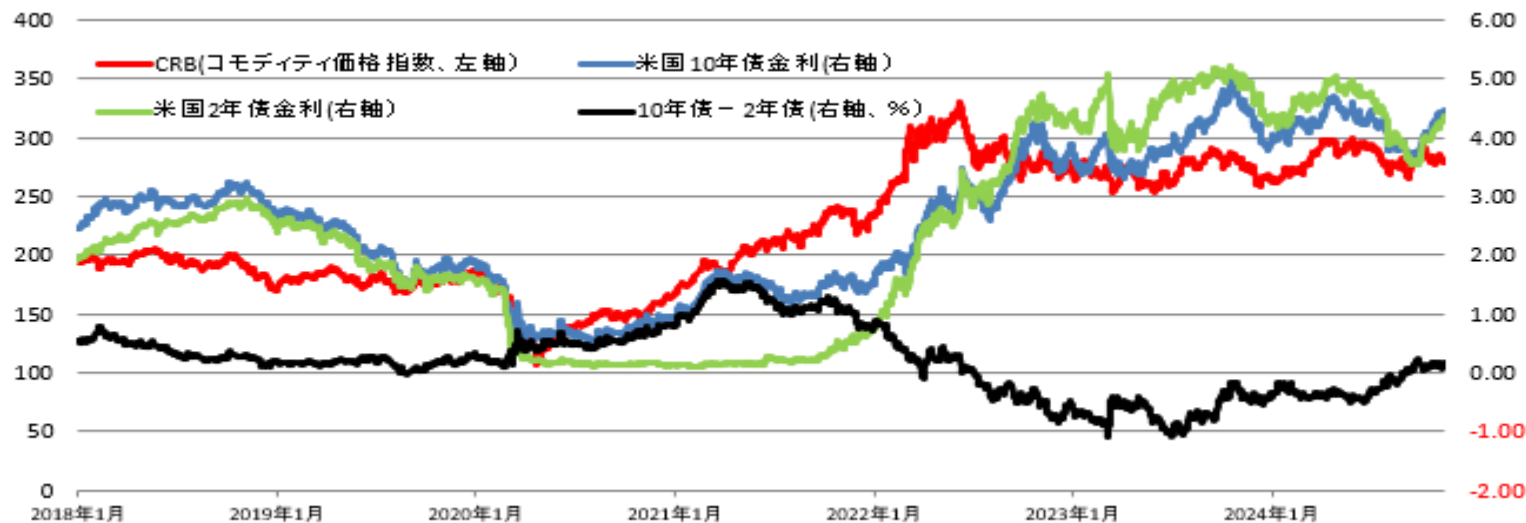


出所) ブルームバーグなどより筆者作成 6



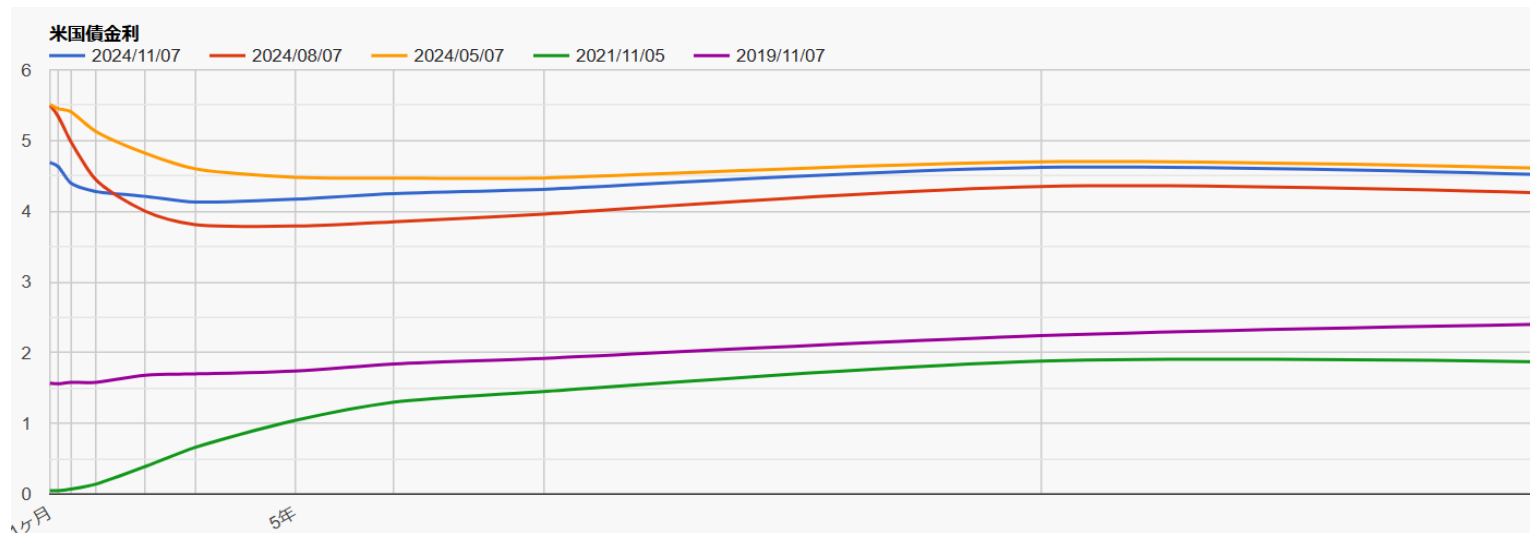
イールド・カーブは経済の心電図 (P.7)

CRB指数と米国債利回り差 (2018年1月～2024年11月15日)



出所) ブルームバーグなどより筆者作成

米国のイールド・カーブ



出所) TIB BANK (2024年11月11日現在)

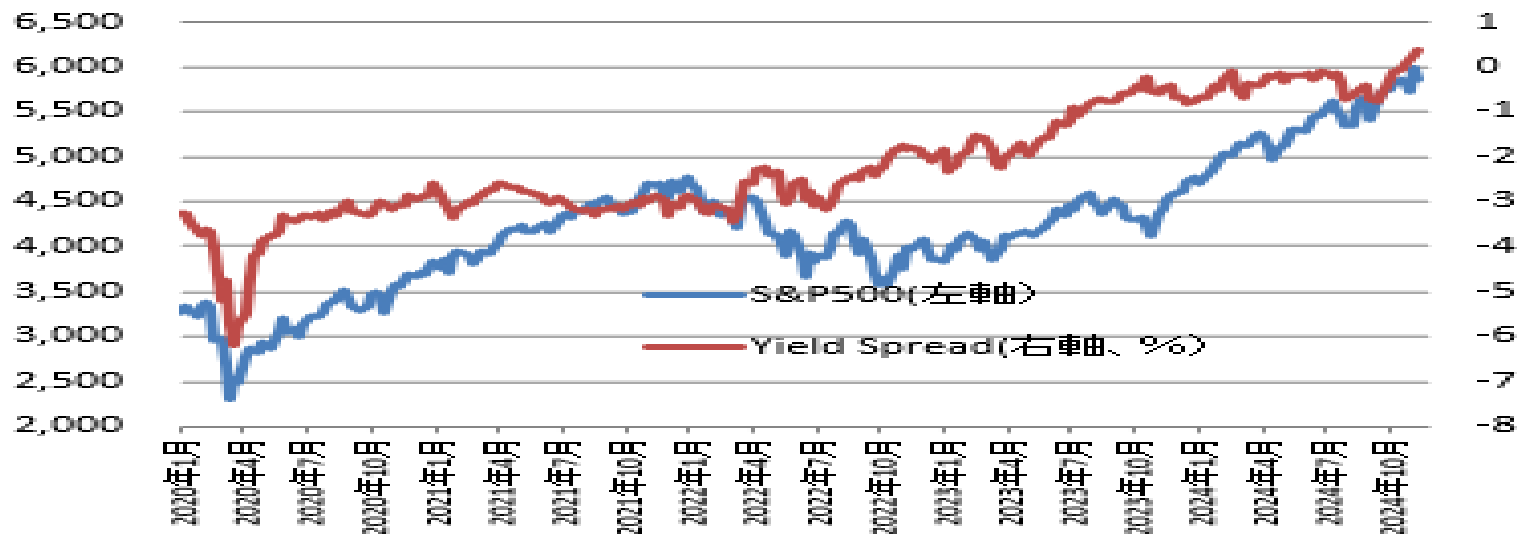


イールドカーブ（利回り曲線）は各残存期間の米国債利回りをつないだものです。景気の先行きを判断する材料とされ、また金融政策の先行指標的な意味合いがあります。株式投資などでは、金利動向の予測・確認が最優先です。通信講座でも毎週、金利動向についてカバーしています。金利期間構造の理解は「純粋期待仮説」「流動性プレミアム仮説」「市場分断仮説」などもご参照ください

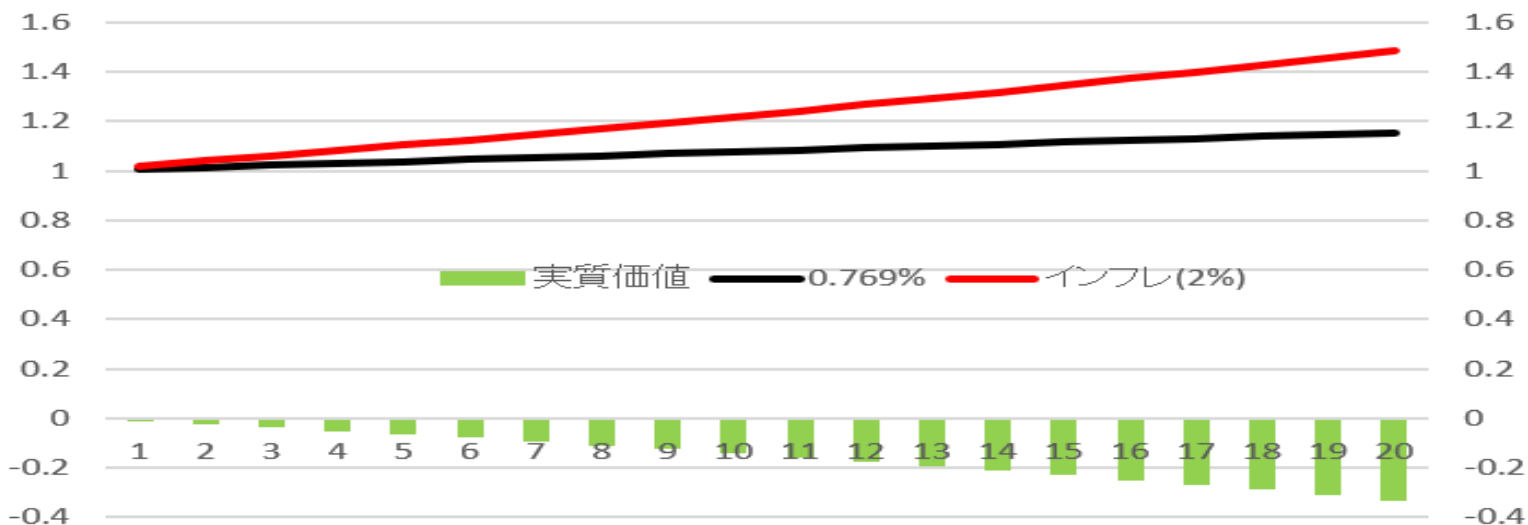


カオスの時代へ (P.8)

イールド・スプレッド（米10年債利回り－S&P500益利回り）とS&P500（2024年11月15日現在）



インフレ2%時における新型窓口販売国債（10年物・応募者利回り0.769%）の**実質価値**



出所）財務省より筆者試算（応募者利回りは税引き後）



イールド・スプレッド（10年物米国債の利回りとS&P500の益利回りの差）がゼロを超え、リスクの高い株式投資のほうが期待利益率が低い、異常な状況です。下段は日本のインフレと新窓販国債利回りの比較です。購買力をカバーできない状況です

まさにカオス（Χάος、chaos、混沌）です。無秩序で、多くの要素が入り乱れ、一貫性が見出せない、ごちゃごちゃした状況・様相のことです



カオスの時代にさまざまな金融商品のOPで分散運用を（P.9）

日経225OP +

商品（コモディティ）ETF-OP

- ◎ ゼロにはなりにくい
- × 取り扱いのない場合がある

FX-OP

- ◎ ゼロにはならない
- ◎ スワップポイントを活用できる
- △ 主要通貨なら暴落の可能性が小さい
- △ 相対取引である

個別株・株式ETF・指数OP

- ◎ 高配当株や低位株など対象が豊富
- × 倒産リスクがある



ボラティリティETF-OP

- ◎ ゼロにはならない
- × 取り扱いのない場合がある

「finviz」で検索すると
OP取引ができる上場銘柄が約**5600**出てきます
(FX-OPを除く、24年
11月15日現在)

債券ETF-OP

- ◎ ゼロにはなりにくい
- × 株式に比べて
選択肢が少ない





OP売坊が実践している主な戦略分野（P.10）

1

日経225OP基本戦略

225CALL売りを主戦略にグreek（リスク指標）を使わずに、安全重視のトレードで毎月コツコツと安定的な収益が出せる「運用者」になることが目標です。

2

日経225OP応用戦略

相場観に基づいた組み合わせ戦略でOPトレードの練度を高めます。OPと証拠金の特性を理解した後は、OPの奥深さと醍醐味を楽しめる達人になることが目標です。

3

米国株OP戦略

現物株・ETFの特性を生かしたホイール戦略を中心に戦略を中心に、証拠金の目途が日経225OPに比べてつきやすい米国株OPで運用の幅を広げることが目標です。

4

FX-OP戦略

スワップポイントの優位性を生かしたカバード戦略を中心に、大局的・局所的に運用収益の改善を図れるような思考を磨いていくことが目標です。また、その他の戦略への選択肢も広めていきます。

5

LS戦略など

OPだけでなく先物やCFDを活用した商品間・市場間トレードなど、市場分析の結果からLS（ロング＝ショート）戦略の機会を見出せるようになることが目標です。

究極の目標は分散運用

- ☆ 銘柄分散
- ☆ 時間分散
- ☆ 戦略分散

でリスクを抑えながら、
より高いシャープレシオを目指すこと

例【FX-OP戦略編】

- 第1回 ターゲット買い戦略
- 第2回 カバードCALL戦略
- 第3回 ゼロコストOP戦略
- 第4回 ストラングル売り戦略
- 第5回 ドル円の戦略例

FX-OPは証拠金の変動が相対的に小さく、計算式が単純で予見しやすいことが最大のメリットでしょう。また、決済方式も受渡と差金を選べますので、資金管理が、かなり楽です





売坊流日経225OP基本戦略のポイント（P.11）

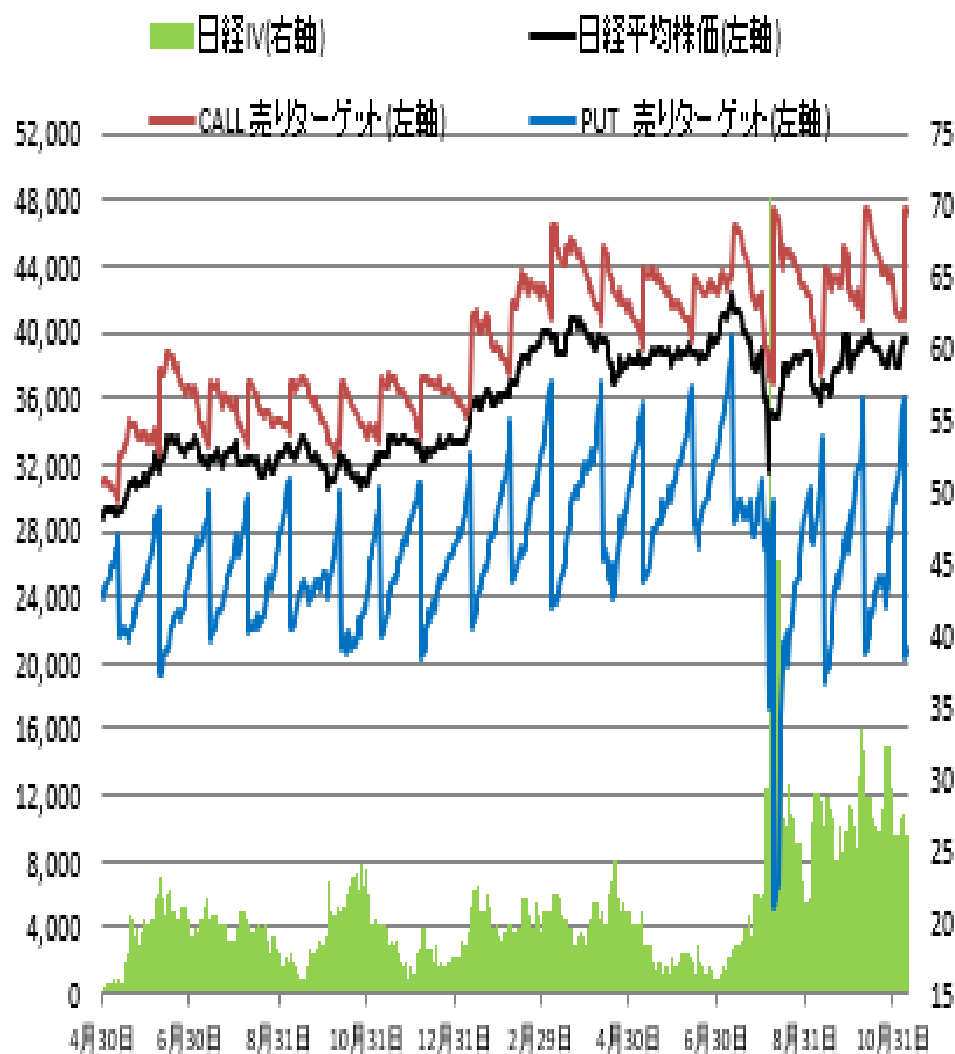
限月ごとに戦略を見直す

- ①どの限月・権利行使価格のCALLを売るか？
- ②いつ売るか？
- ③何枚売るか？

建玉管理

証拠金管理

戦略の策定



出所) TradingViewより筆者作成 (2024年11月8日現在)



売坊流米国株OPターゲット買い戦略で注目のテーマ（P.12）

売坊注目のテーマ（半導体の次に来る）

- ◎ サイバーセキュリティとネットワーク
- ◎ ゲノミクスと最先端医療
- ◎ ロボット関連と人工知能
- ◎ 再生可能エネルギーと新たなスマート農業

安定的な収益を目指す戦略の他、米国の
低位株にはリスクがあるものの大化けの
可能性を秘めている銘柄があります

本コース『米国株OP用リスク管理エクセルシートを使ったシミュレーション例

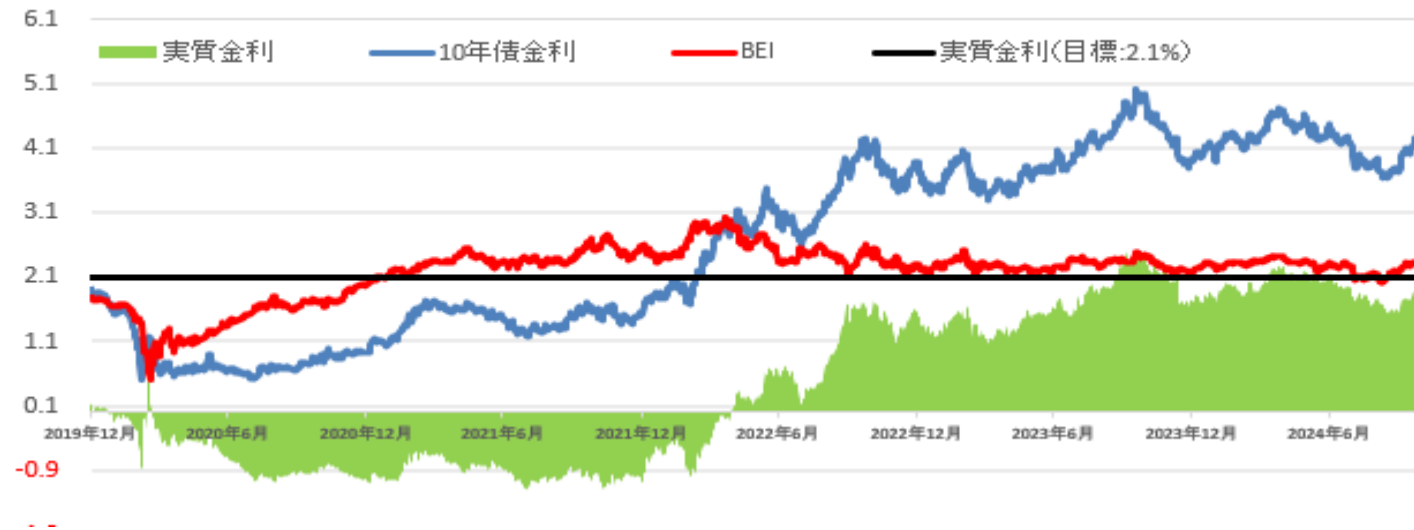
	PUT	PUT	PUT	PUT	PUT	PUT	PUT	PUT
行使価格	\$17.50	\$15.00	\$15.00	\$12.50	\$15.00	\$12.50	\$12.50	\$12.50
週末価格	17.49	17.49	17.49	17.49	17.49	17.49	17.49	17.49
プレミアム	\$1.60	\$0.35	\$1.02	\$0.40	\$1.90	\$1.10	\$1.20	\$1.35
単位数 (1単位=100株)	1	1	1	1	1	1	1	1
プレミアム合計	\$160.00	\$35.00	\$102.00	\$40.00	\$190.00	\$110.00	\$120.00	\$135.00
証拠金(A)	¥55,236	¥35,529	¥35,529	¥29,608	¥35,529	¥29,608	¥29,608	¥29,608
満期日	2024年7月19日	2024年7月19日	2024年8月16日	2024年8月16日	2024年11月15日	2024年11月15日	2024年12月20日	2025年2月21日
売建日	2024年7月15日	2024年7月15日	2024年7月15日	2024年7月15日	2024年7月15日	2024年7月15日	2024年7月15日	2024年7月15日
満期までの日数	5	5	33	33	124	124	159	222
手数料	\$2.25	\$2.25	\$2.25	\$2.25	\$2.25	\$2.25	\$2.25	\$2.25
受取プレミアム(手数料控除後)	\$157.75	\$32.75	\$99.75	\$37.75	\$187.75	\$107.75	\$117.75	\$132.75
円ドルレート	157.85	157.85	157.85	157.85	157.85	157.85	157.85	157.85
円貨の受け取りプレミアム	¥24,900	¥5,169	¥15,745	¥5,958	¥29,636	¥17,008	¥18,586	¥20,954
証拠金ベース収益率	45.08%	14.55%	44.32%	20.12%	83.41%	57.44%	62.77%	70.77%
証拠金ベース収益率(年率)	3290.79%	1062.05%	490.16%	222.57%	245.53%	169.09%	144.10%	116.36%
行使された場合の資金(B)	¥276,238	¥236,775	¥236,775	¥197,313	¥236,775	¥197,313	¥197,313	¥197,313
+ 証拠金(A)	¥331,474	¥272,304	¥272,304	¥226,921	¥272,304	¥226,921	¥226,921	¥226,921

出所) 本コース『週次レポート』2024年7月15日号より抜粋



売坊流FX-OP戦略：実質金利からドル円をみる（P.13）

米国の実質金利（10年債金利－BEI、2019年12月～2024年11月15日）



ドル円レート（2019年12月～2024年11月15日）



BEI（ブレイク・オープン・インフレ率）とは10年物米国債の利回りから物価連動債の利回りを差し引いたものです。「実質金利」を出すためにCPI（消費者物価指数）ではなくBEIを用いたのは、BEIのほうが実際の経済活動に基づいたインフレ水準だからです。2.1%の水準は各種指標などを加味して個人的に考えている現在の「米国の短期潜在成長率」です。そして、実質金利差は大きく為替レートに影響していると分かります



売坊流FX-OP戦略のタイミング (P.14)

ドル円レートとその一目均衡表とヒストリカル・ボラティリティ



出所) TradingView (2024年11月15日)

FX-OP戦略で利用するテクニカルの一例



出所) TradingView (2024年11月15日)



FX-OPのトレード戦略でも、ファンダメンタル分析だけでなく、テクニカル分析を加味する方法をいくつか紹介しています。下段はTradingViewで無料で使えるテクニカル指標の一例です

そこではOPから得られる情報の使い方もあります。株式・債券・為替・商品など各金融商品でボラティリティの特性を把握することは、運用にとっても有効と考えています



OP戦略ポートフォリオによる分散運用例 (P.15)

		期待 収益率	戦略P1		戦略P2		戦略P3		戦略P4		戦略P5	
			ウェイト		ウェイト		ウェイト		ウェイト		ウェイト	
日経225月次OP+ミニOP		10%	100.00%	10.00%	75.00%	7.50%	50.00%	5.00%	17.00%	1.70%	0.00%	0.00%
米国株	商品ETF-OP	15%	0.00%	0.00%	5.00%	0.75%	10.00%	1.50%	17.00%	2.55%	20.00%	3.00%
	低位株OP	50%	0.00%	0.00%	5.00%	2.50%	10.00%	5.00%	15.00%	7.50%	20.00%	10.00%
	配当王OP	10%	0.00%	0.00%	5.00%	0.50%	10.00%	1.00%	17.00%	1.70%	20.00%	2.00%
	LEAPS	5%	0.00%	0.00%	5.00%	0.25%	10.00%	0.50%	17.00%	0.85%	20.00%	1.00%
FX-OP		15%	0.00%	0.00%	5.00%	0.75%	10.00%	1.50%	17.00%	2.55%	20.00%	3.00%
ポートフォリオ全体			100.00%	10.00%	100.00%	12.25%	100.00%	14.50%	100.00%	16.85%	100.00%	19.00%

		期待 収益率	戦略P6		戦略P7		戦略P8		戦略P9		戦略P10	
			ウェイト		ウェイト		ウェイト		ウェイト		ウェイト	
日経225月次OP+ミニOP		10%	90.00%	9.00%	49.00%	4.90%	49.00%	4.90%	20.00%	2.00%	0.00%	0.00%
米国株	商品ETF-OP	15%	5.00%	0.75%	17.00%	2.55%	0.00%	0.00%	20.00%	3.00%	0.00%	0.00%
	低位株OP	50%	5.00%	2.50%	0.00%	0.00%	17.00%	8.50%	0.00%	0.00%	50.00%	25.00%
	配当王OP	10%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	20.00%	2.00%	0.00%	0.00%
	LEAPS	5%	0.00%	0.00%	17.00%	0.85%	17.00%	0.85%	20.00%	1.00%	0.00%	0.00%
FX-OP		15%	0.00%	0.00%	17.00%	2.55%	17.00%	2.55%	20.00%	3.00%	50.00%	7.50%
ポートフォリオ全体			100.00%	12.25%	100.00%	10.85%	100.00%	16.80%	100.00%	11.00%	100.00%	32.50%

[注] 上記は参考として例示したものであり、将来の収益を保証するものではありません。



売坊流最大の目標は高いシャープ・レシオの実現（P.16）

収益率 (リターン) %	リスク (収益のブレ) %	シャープ・ レシオ	99.7%の確率で		95%の確率で	
			%	%	%	%
10.0	10.0	1	-20.0	~	40.0	-10.0 ~ 30.0
	5.0	2	-5.0	~	25.0	0.0 ~ 20.0
	3.3	3	0.0	~	20.0	3.3 ~ 16.7
	1.0	10	7.0	~	13.0	8.0 ~ 12.0

30.0	30.0	1	-60.0	~	120.0	-30.0 ~ 90.0
	15.0	2	-15.0	~	75.0	0.0 ~ 60.0
	10.0	3	0.0	~	60.0	10.0 ~ 50.0
	3.0	10	21.0	~	39.0	24.0 ~ 36.0

50.0	50.0	1	-100.0	~	200.0	-50.0 ~ 150.0
	25.0	2	-25.0	~	125.0	0.0 ~ 100.0
	16.7	3	0.0	~	100.0	16.7 ~ 83.3
	5.0	10	35.0	~	65.0	40.0 ~ 60.0

$$\text{シャープ・レシオ} = \frac{\text{リターン} - \text{リスクフリーレート}}{\text{リスク}}$$

〔注〕 正規分布を前提とした場合です。

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊公式X『@OP49431790』

<https://x.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用了た図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



売坊流OPトレード入門セミナー

11月23日（土）10時～（オンライン開催）

不透明な時代、OPで運用の幅を広げてみたい方のために

特典1 受講前に『売坊流OPトレード実践Q&A』を進呈!!

特典2 受講後に『入門テキスト』を進呈!!

講演内容（予定）

1. 日経225CALL売り戦略の基本原則

なぜOPは「売り」が優位なのか
なぜ225OPは「CALL売り」が優位なのか
なぜ利益よりも確率なのか

2. 米国株OPとFX-OPの入門戦略

米国株ホイル戦略
FXカバード戦略
質疑応答

*Find Your
Options!*



千里の道も
一歩から!!

詳細は <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011462500005>

オプション倶楽部

検索



【オプション倶楽部】OP売坊戦略コース



一緒に資産運用の達人を目指しませんか？

12月開講の第11回会員20名様限定募集

充実の180日間!!

(2024年12月～2025年5月末)

米国株OP戦略やFX-OP戦略なども紹介

<実践を支える7つのコンテンツ>

- ① 学習プログラム（動画：全9編76回）
- ② 週次レポート（日米市場分析・今週の戦略など）
- ③ 月次セミナー（オンライン生配信とオンデマンド配信）
- ④ アラートメール（暴騰・暴落注意報など）
- ⑤ 個別質問掲示板（スレッド形式で過去の質疑応答も閲覧可）
- ⑥ リスク管理エクセルシート（225OP用・米国株OP用・FX-OP用）
- ⑦ 入門テキスト（PDF：索引付き）

99%の確率で年率15%の収益を安定的に稼ぎながらOPトレードの本質会得を目的としています。成功へのカギは確率統計とリスク管理だけ！

Find Your Options!



詳細は <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011462600002>

オプション倶楽部

検索



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

解説資料の入手リンクや補足Q&A記事などを配信しています！



- ・ 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - ・ 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - ・ 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - ・ 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - ・ 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!

お気軽にご登録ください！



オプション倶楽部

検索



OP売坊の『オプション倶楽部TV (OPCTV) 』

水曜22時から  YouTube で配信中!!

3つの視点で日本株・米国株・為替など市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します

第1週目



政治経済
イベント分析

第2週目



グレイ・リノ
分析

第3週目



異常値分析

第4週目



ワンポイント
解説

※祝日や暦などで配信週が変更される場合があります。

ラジオNIKKEI月曜14時からの
『キラメキの発想』に出演した場合
その週の水曜配信は、お休みします



プレミア公開です。チャット欄へのコメントをお待ちしています。私も参加していることが多いです！

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>